

新連載

人財を活かす ふくしの 職場改革

Vol.3



今回お話を伺った方!

社会福祉法人三重ベタニヤ
事務課長

小林 信行さん

介護職員

野呂 真弓さん

介護職員

伊藤 あゆさん

福祉・介護分野で依然として人材確保が喫緊の課題となっている中、人材の確保・定着を目指して三重県内の福祉事業所等が行っている「職場改革」や「働きやすい職場づくり」の取り組みを紹介いたします。

**事業所内に
企業主導型保育園を設置。
利用者さまにも好評**

社会福祉法人三重ベタニヤ

保育園設立のきっかけ

法人内で職員の確保・定着に頭を悩ませていたころ、待機児童のニュースを見聞きしてまいりました。法人内の利点だけでなく地域貢献の意味もあり、保育園だけでなく学童保育や託児所の可能性も含め検討を深めていきました。そうしたなか、子どもの安全面や内閣府の企業主導型保育事業の助成金を活用できることも分かり、ニチイ学館に運営委託をして実施することとなりました。

開園の苦労

企業主導型保育園を検討するにあたって、先行事例も少なかったために手探り状態の中、三重県との協議を何度も行いました。そして、平成29年4月から定員6名で開園することができました。当初は、手続や体制が整わなかったため、地域住民からの募集をせず、従業員枠の児童3人でスタートしました。その後、タウン誌や子育て情報誌で広告を出すなど周知には時間がかかりましたし、苦労もありました。しかし、本年度はおかげさまで、子どもを預けられるということで本施設を選んで就職してくれた求職者が

出始めましたし、地域からも申し込みもあり定員を満たすことができました。

保育園を設立してみて

当初考えていた職員の確保・定着だけでなく、入所中の利用者にとってもプラスの面があります。普段の暮らしの中で利用者が園児を見かけたり交流したりすることで、利用者に笑顔が見られるようになり、施設の雰囲気もさらに明るくなりました。また、今まで当法人では接点の少ない地域の子育て世代をはじめ、広い方面の方々に興味を持っていただくことができました。当法人にとって、事業所内に保育園があるということは、職員の働き方を理解し配慮する環境を整えることに繋がります。このことは、すべての職員に対しても働きやすい環境づくりにも当てはまることと考えています。



事務所内から子どもの様子が見られます。手を止めて思わず手を振ってしまいます!

職員さんに伺いました!

伊藤さん

職場で子どもの姿を見られるし、何かあってもすぐ会えるので安心感がありますね。週に1回程度、園児と利用者との交流があり、そういうタイミングで子どもの姿を見かけることができるのも一因でしょうか。利用者から「あんな子どもはどしたん?」といった声をかけていただくこともあり嬉しく思います。施設側も、子育てについて配慮してくれる雰囲気も伝わってきて心強いです。

野呂さん

子どもは2人ともこちらの保育園で見てもらっています。産休中でも、上の子どもを保育園に預けることができました。家だけでは、きつと育児が難しかったと思いますが、週4日保育園で預かって遊ばせてもらって大変助かりましたね。復帰の際も、年度途中からの入園希望を叶えてもらうことができたのもよかったです。



施設情報

社会福祉法人三重ベタニヤ
地域密着型特別養護老人ホーム
グレイスホーム

〒515-0831 松阪市岡本町字上川原428-2
TEL 0598-30-8200